

2学期学校評価の考察と改善策について

平成28年度 南牧小学校学校評価システムの羅針盤				アンケート例示 上:保護者用 下:児童用				28年度2学期の考察と3学期の改善策	
評価対象	評価項目	具体的数値目標	今年度の方策	結果 (数字％は「Aよくあてはまる」「Bだいたいあてはまる」の合計値)					
I 学校・保護者・地域の連携について	1 学校や児童の様子を保護者に伝え、理解を得ていますか。	①「学校や児童の生活の様子がわかる」と答える保護者が90%以上である。	*学校日より、学年日より、ふれあいテレビ、ウェブサイトで学校の方針や様子を効果的に伝えていきます。	保護者	学校は各種たよりや通信物・電話・連絡帳・ホームページ・なんもくTVなどを通じて、保護者への連絡をきめ細かく行っていると思いますか。			大変よい結果が得られました。本校の教育活動をその都度伝えられたのではないかと思います。引き続き行事等を中心に教育活動の様子を伝えていきます。また、子供自身が家族との会話の中で学校のことを話すことも大変重要です。そのきっかけになるような発信の仕方に努めていきます。	
	2 保護者が学校を理解したり、協力したりしやすい環境をつくっていますか。	②授業参観後の懇談会に出席している保護者が90%以上である。	*学校公開日・日曜参観を設定したり、参加しやすいPTA活動を行います。また、職員はいつでも悩みや意見を相談しやすい対応を心がけていきます。	保護者	学校行事や授業参観・PTA活動などは参加しやすいと思いますか。				
	保護者	家の人や地域の人が業前や学校行事や授業参観などによく来てくれる。							
	児童	学校日よりや学級日より・連絡帳などで学校や自分のことが家の人によく伝わっている。							
保護者	100.00%	94.12%	100.00%	92.00%					
保護者	96.00%	100.00%	100.00%	100.00%					
児童	96.00%	100.00%	100.00%	100.00%					
II 豊かな心について (やさしく)	3 気持ちのよい返事やあいさつをする児童が育っていますか。	③気持ちのよい返事やあいさつができる児童が90%以上である。	*全体指導や日常的な学級指導、道徳の時間の充実を通して継続的な指導をしていきます。	保護者	お子さんは、家族や地域の人などに気持ちのよい返事や挨拶をしていますか。			全体的には、よい結果が得られましたが、場面や立場が変わると自分から気持ちの良い挨拶や返事ができていない様子も見られます。学校全体で様々な場面を活用し、いつでも、どこでも返事や挨拶ができるように指導していきたいと思います。	
	4 いじめのない学校づくりのために取り組んでいますか。	④いじめの発生予防に努め、いじめの解消率が100%である。	*小さい出来事も見逃さないように、日常の観察をしっかりと行い、毅然とした態度で指導を行います。	保護者	お子さんは、今学期になっていじめを受けていませんか。				
	児童	2学期のあいだ、人からいじめられたことはない。							
	保護者	96.00%							
保護者	92.00%	92.86%	87.50%	96.00%					
児童	96.00%	—	85%解消率100%	100.00%					
保護者	96.00%	—	85%解消率100%	100.00%					
児童	96.00%	—	85%解消率100%	100.00%					
III 確かな学力について (かしこく)	5 授業は、わかる授業となっていますか。	⑤「授業がわかる」と答える児童が90%以上である。	*小規模校の利点を生かして一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな授業を行っています。	保護者	お子さんは「授業が分かりやすい」といっていますか。			1学期に続き、目標は達成しています。今後も、少人数であることの利点を生かした指導を工夫しながら、楽しくて分かる授業の実践を継続していくとともに、さらなる学力の向上を目指して、児童が自らの学びを実感できるような授業づくりに取り組んでいきます。	
	6 家庭で学習をする習慣が児童に身に付いていますか。	⑥家庭で自分で決めた学習(含宿題)や読書などをしっかり行える児童が90%以上である。	*懇談会や学年だよりで家庭学習の仕方・例示・紹介を行い、学習習慣を身に付けさせていきます。 *「家庭学習の手引き」を活用し、家庭での自主学習の内容の充実を図っていきます。	保護者	お子さんは、家庭学習(宿題・読書を含む)を自分で決めて行っていますか。				
	児童	自分から、家庭学習(宿題・読書を含む)を、きちんとしている。							
	保護者	92.00%							
保護者	96.00%	100.00%	100.00%	96.00%					
児童	92.00%	—	100.00%	96.00%					
保護者	92.00%	—	100.00%	96.00%					
児童	92.00%	—	100.00%	96.00%					
IV 健やかな体について (たくましく)	7 児童の健康を考えた適切な取組を行っていますか。	⑦自分自身の体の動きの特性を知り、体づくりに励む児童が80%以上である。	*学校保健委員会を通して、全校で体づくりに取り組んでいきます。 *体育部と連携し、体力テストの結果等を活用しながら、継続して実践できる支援をしています。	保護者	お子さんは、学んだことをいかし家庭でも積極的に体づくり運動に取り組んでいますか。			学校保健委員会で提案した取組を運動会や持久走大会と関連させ、児童の意欲も高めながら体づくり運動に取り組みました。2回目の体力テストの結果も向上し、よい効果がみられました。体力向上のためには、継続することが大切です。今後は保護者の協力も得ながら体づくり運動に励む児童がより多くなるよう工夫して取り組んでいきます。	
	8 児童の体力の向上を考えた取組を行っていますか。	⑧休み時間や放課後に外遊びができる児童が95%以上である。	*業間休みを長めに設定し、運動や遊び環境の工夫、体育や体育的活動と連携させた指導を生かした取組を行います。	保護者	お子さんは、学校や地域の中で積極的に運動したり、遊んだりしていると思いますか。				
	児童	一週間のうち平日4回以上、休み時間や放課後に外遊びや運動を行っている。							
	保護者	92.00%							
保護者	80.00%	—	100.00%	88.00%					
児童	92.00%	92.31%	100.00%	100.00%					
保護者	92.00%	92.31%	100.00%	100.00%					
児童	92.00%	92.31%	100.00%	100.00%					
V 安全確保・施設設備について (安全な学校)	9 学校の安全対策はとられていますか。	⑨避難、救護などを想定したシミュレーションを定期的に行い、危機対応の見直しを図っている。	*不審者・火災・地震等に対する対応訓練を計画的に行います。 *危険回避能力を身に付ける指導を計画的に実施していきます。	保護者	学校は避難訓練や不審者対応などの安全指導を計画的に実施できていると思いますか。			2学期は、地震に対する避難訓練を2回行いました。12月の避難訓練では、休み時間に非通知で行いましたが、どの児童もその場に合った対応ができました。また、自転車安全講習を、3年生以上の児童に行い、運転技能の向上に努めました。3学期には不審者対応の訓練を行い、安心・安全な学校づくりに努めます。	
	10 登下校時の安全対策が取られていますか。	⑩安全に注意して歩いたりバスの中で安全に過ごしたりできる児童が100%である。	*通学路の安全点検を定期的に行います。 *バスの安全な乗り方について指導していきます。 *その都度危険情報を示して指導を行います。	保護者	学校は通学路やバスの安全な乗り方など登下校の安全確保のための取組ができていますか。				
	児童	登下校のとき安全に歩いたり、きまりを守ってスクールバスに乗ったりしている。							
	保護者	96.00%							
保護者	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%					
児童	96.00%	100.00%	100.00%	100.00%					
保護者	96.00%	100.00%	100.00%	100.00%					
児童	96.00%	100.00%	100.00%	100.00%					
VI 自己理解・生き方について	11 自分のよさに気づき、夢や希望を持った児童が育っていますか。	⑪自分のよさや好きなこと、自分の可能性を伸ばすことについて、学校や家庭で話したり考えたりしている児童が90%以上である。	*学級や縦割り班の活動を通して、集団の中で自分らしさを発揮できる機会をつくれます。 *当番活動や様々な係活動を通して、自己の役割を理解し積極的に行動できる力を伸ばします。 *自分たちで計画を立て、責任をもって取り組む場面をつくれます。 *様々な生き方や仕事に接したり考えたりできるような機会をつくれます。	保護者	学校や学校以外の様々な活動を通して、お子さんのよさが発揮されていると思いますか。			1学期に続き、おおむねよい結果が得られました。学校生活の中で異学年との関わりを深めながら、自分らしさを発揮することができています。一方で自分のよさや好きなことを家庭で話す機会が少ない児童が数名いるという課題があります。学校では児童が自分のよさに気付くことができるような声かけを大切に、自己有用感を高める取組を大切にします。また学校から家庭へ児童のよさについて、話題となるような情報発信ができるように努めます。	
	保護者	学級や縦割り班の活動で自分の役割を理解して進んで活動している。							
	児童	自分の良さや好きなことを家の人と話すことがある。							
	保護者	92.00%							
保護者	92.00%	100.00%	100.00%	96.00%					
児童	92.00%	100.00%	100.00%	80.00%					